

■新型コロナウイルス感染症予防対策を遵守する。

※詳細は川少連の『改訂版 新型コロナウイルス感染症予防対策ガイド』を参照のこと。

■中子連主催トスベースボール大会における競技ルールを以下の通りとする。**【大会ルール】**

- 参加チームをブロックに分け、各ブロックで予選トーナメント戦を行う。
⇒ 予選トーナメント戦では、最終イニングで後攻チームが10点差以上で負けている場合でも攻撃を行う。
- 各ブロックの優勝チームは決勝トーナメント戦を行う。
⇒ 決勝トーナメント戦では、最終イニングで後攻チームが10点差以上で負けている場合は攻撃を行わない。
- 1試合2イニング制とする。
⇒ 各トーナメントの決勝戦のみ、3イニング制とする。
- 試合終了時点で同点の場合は監督による抽選で勝敗を決定する。
⇒ 抽選順は先行・後攻の順とする。
- 打撃、守備共に1チーム10名とする。
⇒ お母さんの1試合の出場人数は2名以上3名以内とする。
⇒ 登録名簿の選手(子ども)は、必ず試合に出場させること。
- 同一イニング内(打撃および守備)のメンバー交代はできない。

【グランドルール】

- 墓間は18mとする。
- ホームベースを中心に3mのホームサークルのラインを引く。
⇒ ホームサークル内に止まった打球はファールボールとする。
- ホームベースから9mに守備禁止エリアのラインを引く。
⇒ 打者が打つ前の守備を禁止するエリアであり、打った後の守備は可能とする。
- 各塁に2mのリードラインを引く。
- バッターボックスは学童野球のサイズに準ずる。
- 1塁ベースはダブルベースとする。

【試合ルール】

- 攻撃はアウトカウントに関係なく、1イニング1番から10番のゼッケン順で打席に入る。
- 盗塁・バントは禁止とする。(盗塁・バントした場合はアウト)
- マシンからの投球は全てストライクカウントとなり、3球以内にフェアゾーンに打たない場合は打者はアウトとする。(3球目がファールでもアウト)
⇒ 捕手はマシンにボールがセットされた時点でホームサークル外(ホームベース後方)で待機する。
- 打球がマシンに当たった場合はファールボールとする。
⇒ 送球がマシンに当たった場合はインプレー(プレー継続)とする。
- インフィールドフライの宣告はしない。
- コーチヤーズボックスへはコーチ(大人のみ)も入ることができる。
- 走者の離塁はリードラインまでとする。
⇒ 打者が打つ前にリードラインを超えた場合は走者をアウトとする。
- 走者は球審が笛を吹いた後の進塁はできない。
- 走者のスライディングは禁止とする。
- 打者走者および走者の各塁の駆け抜けを認める。
⇒ オーバーランした場合にタッグをしてもアウトにならない。
- 送球がボールデットゾーン(ホームサークル以外)に入った場合は走者に2つの進塁を認める。
⇒ 最終打者のプレーでボールデットゾーンに入った場合はインプレー(プレー継続)とする。
- ボールデッドはホームサークル内で野手がボールを完全捕球、またはボールを捕球した野手がホームサークル内に到達した場合とする。
⇒ 球審が笛を吹くまではインプレー(プレー継続)とする。
⇒ 打者走者が1塁へ到達する前にボールデッドとなった場合は打者走者をセーフとする。
⇒ フォースアウトが成立する走者が次塁へ到達する前にボールデッドとなった場合は走者の進塁を認める。
⇒ 走者がボールデット時点でホームサークルに到達している場合は得点として認める。
⇒ 走者がボールデット時点でホームサークルに到達していない場合は前塁へ戻す。
但し、満塁時の3塁走者がホームサークルに到達していない場合は3塁走者をアウトとする。
- 最終打者(10人目)がアウトとなった時点で攻撃終了とする。(攻撃終了後のホームインは無効)